

令和7年 10月 10日

福知山市議会議長 吉見 茂久 様

会 派 名 蒼士会

代表者名 高橋 正樹

政 務 活 動 費 実 績 報 告 書

令和7年 4月 1日付け 福議 第334号により交付決定のあった政務活動費において、令和7年度 上半期（4月から9月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

記

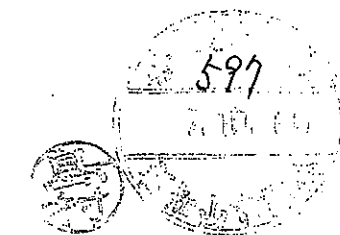
1 年度政務活動費の額（上半期） 112,590 円

2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項 目	金額（上半期）	主な支出内容
調査研究費	23,100 円	タブレット端末通信費
研 修 費	79,040 円	研修受講料 他
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費	10,450 円	プリンター購入費
資料購入費		
人 件 費		
事務所費		
合 計	112,590 円	

添付書類

- ・政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・政務活動費の支出額及びその使途に関する書類
- ・政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



支出科目： 調査研究費

合計金額： 23,100 円

納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

令和7年度 呼出番号 00487053

納付者 福知山市字内記13番地の1

著士会 様

タブレット端末通信費議員負担金（会派請求分）
令和7年度上半期分

納付金額 23,100円

納入期限 令和 7年 9月 30日

所属 010100 議会事務局

会計 01 一般会計

款 22 諸収入

項 04 雑入

目 03 雑入

節 01 雑入

細節 60 その他の雑入

細々節 15 タブレット端末通信料議員負担金

上記のとおり納付してください。

令和 年 月 日

福知山市長

大橋 一夫

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013

領収日付印

(納付者保管)



元調定伝票番号 07-010070



00487053

納 め る と こ ろ

福知山市役所会計室及び各支所出納窓口

京都銀行 本店・支店

京都北都信用金庫 本店・支店

京都丹の国農業協同組合 本店・支店

近畿労働金庫 福知山支店

但馬銀行 福知山支店

但馬信用金庫 福知山支店

福知山市内の京都農業協同組合

福知山市内の中兵庫信用金庫

近畿2府4県の郵便局（大阪府、京都府、

兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）

タブレット端末使用状況表

(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

会派名(蒼士会)

標 題	差出人	使用日時
議会運営委員会の報告	藤本 喜章	R.7.4.24
議会運営委員会の報告	藤本 喜章	R.7.5.2
6月定例会 一般質問 仮通告書	森下 賢司	R.7.5.27
6月定例会 一般質問 仮通告書	野田 晋介	R.7.5.28
6月定例会 一般質問 本通告書	森下 賢司	R.7.6.2
6月定例会 一般質問 本通告書	野田 晋介	R.7.6.3
広報公聴委員会アンケート	高橋 正樹	R.7.6.11
6月定例会 本会議討論	森下 賢司	R.7.6.19
6月定例会 本会議討論(再)	森下 賢司	R.7.6.24
視察計画書	高橋 正樹	R.7.8.12
9月定例会 一般質問 仮通告書	森下 賢司	R.7.8.24
9月定例会 一般質問 仮通告書 追加	森下 賢司	R.7.8.24
研修報告書	高橋 正樹	R.7.8.26
決算 自由討議テーマ	高橋 正樹	R.7.9.29

(様式1)

令和7年4月25日提出

福知山市議会

議長 田淵 裕二 様

会 派 名 蒼士会

代表者名 高橋 正樹

政務活動費研究研修視察報告書

1 研修年月日 令和7年4月21日(月)～4月22日(火)

2 研修先 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)

3 参加者氏名 森下 賢司

以上1名

4 経 費 合計14,320円(14,320円/1人あたり)

5 視察・研修項目

令和7年度「第1回市町村長等・議会議員特別セミナー」

講師 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

准教授 山口 真一 氏

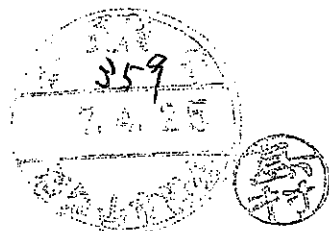
総務省総務審議官 原 邦彰 氏

一般社団法人おにぎり協会 代表理事 中村 祐介 氏

岡山県瀬戸内市長 武久 顕也 氏

6 添付資料 資料(別添のとおり)

7 経費精算書 (別添のとおり)



政務活動費研究研修視察報告書（蒼士会）

令和7年4月21日（月）～22日（火）

参加者 森下賢司

場所：全国市町村国際文化研修所（滋賀県大津市）

「令和7年度 第1回市町村長等・議会議員特別セミナー」

1) 「偽・誤情報問題～その現状と求められる対策～」

講師 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授 山口 真一（やまぐち しんいち）氏

○フェイク情報の危険性…人の欲望や不安につけ込むフェイク情報▽災害時のデマ投稿、新型コロナウイルス関連、政治的な発信など、多くのフェイク情報が流布⇒共感・拡散されやすく、多くの人が信じる▽根拠のない情報が選挙に影響を与える可能性⇒自分は騙されないと感じている人が騙されやすい
○SNSと選挙…2024年は日本の選挙の転換点▽SNSとインフルエンサーが選挙結果を左右してしまう⇒SNSの有効活用を▽批判せず、政策と人物像を解りやすく伝えることで信頼感を醸成する。選挙の前だけでなく、継続的な発信をする▽信頼性の高いデータ、情報源の活用▽慎重な言葉選び、感情で投稿せず、一般市民への反論・批判やしない▽わからないこと、誰かを傷つけることは拡散しない

2) 「持続可能な地方行財政のあり方」

講師 総務省総務審議官 原 邦彰（はら くにあき）氏

○人口構造と課題…首都圏では日本人の数が減っており、外国人の増加で人口を維持している⇒人口減少を前提として、どう地域をまわしていくかが課題▽人口が減っても地域がやっていける地方自治を。総務省の地域力創造政策は①地方への人の流れの創出・拡大②地域経済の好循環で付加価値の創造③自治体DXの推進⇒デジタル・AIで一人当たりの「稼ぎ」を増やし、供給力を維持していくこと。
○令和7年度地方行財政計画の重点項目…公務員人件費アップに要する地方財政の確保、物価高対応、公立小・中学校体育館空調設備の光熱費措置、教職調整額の引き上げ、緊急浚渫推進事業費の拡充、デジタル活用推進事業費創設、水道の防災対策推進、地域医療体制確保、緊急防災・減災事業費の拡充等

3) 「おにぎりから世界へ、次世代へ～地域資源の広げ方～」

講師 一般社団法人おにぎり協会 代表理事 中村 祐介（なかむら ゆうすけ）氏

○おにぎりは日本発世界の食文化…おにぎりは家で作るものから買うものに変遷⇒金沢駅おにぎり店は@400円で一日8,000個販売、一日売上320万円▽英辞典は、ライスボールではなく「ONIGIRI」で掲載▽国内専門店はこの5年間で1.6倍、2,149店舗に。気軽に食べる食文化
○おにぎりで地元PR…事業の安定性、小規模スペース（約30㎡）で出店可能▽高価格おにぎり（1個あたり約400円～800円程度で、多店舗と差別化しやすい▽児童・生徒も一緒にメニュー創造・考案しやすい⇒ローカルに留めず「仕組化」を⇒地域・行政・企業のコラボで地域ブランド化が図れる。
おにぎりサミットの開催。おにぎりは魅力満載だがその魅力に一番気づいていないのが日本人である。

4) 「地域の歴史・文化資源を活かしたまちづくり～しあわせ実感都市瀬戸内市の取り組み～」

講師 岡山県瀬戸内市長 武久 顕也（たけひさ あきなり）氏

○瀬戸内市の現状…人口減の連続、平成17年の約39,000人が令和22年には約30,000人▽税外収入の確保に努めた。（交付税が差し引かれないため。）▽太陽のまちプロジェクトに着手⇒塩田跡地の約500haの土地を市が無償で引き取り、土地貸借契約を結び、合同会社が太陽光発電所稼働
○国宝「山鳥毛」里帰りプロジェクト…「日本刀の聖地」である市として、個人が所有して市外の博物館に所蔵されている国宝の日本刀を、市が買い戻すプロジェクト▽購入費、保存施設改修費に約5億円が必要で、市民の理解が得にくく、クラウドファンディングで計画した⇒徐々に共感してくれる市民が増え、約8億8千万集まり、実現できた▽CFは、いかに市民の共感が得られるかがポイントになる。

(様式3)

経費精算書

会 派 名 蒼士会

(単位:円)

月 日	支出項目	支出額	領収書No.
4月16日	研修費	7,300円	①
4月20日	研修費	7,020円	②
支出合計額		14,320円	

支出科目： 研修費
合計金額： 7, 300円

領 収 書

福知山市議会 蒼士会 様

金額 7,300 円

但し、 令和7年度第1回市町村長等・議会議員特別セミナー

の 研修に要する経費(森下 賢司分)

として上記の金額を領収いたしました。

令和7年4月16日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 久保 佳代子

領収書No. 17

セミナー受講料 7, 300円×1名分=7, 300円

支出科目： 研修費

合計金額： 7, 020円

領 収 書		福知山市議会	
Receipt		様	
領収年月日	2025.-4.20		
金額	¥7,020(消費税等込み)	税10%	
上記金額確かに領収いたしました。			
購入商品	JR乗車券類	印紙税申告納 付につき大淀 税務署承認済	
(30570 4枚)			
西日本旅客鉄道株式会社			
福知山駅N1発行	40571-01		

乗車券	福知山⇄唐崎(往復)	3, 960円×1名分=3, 960円
特急券	福知山⇒京都(片道)	1, 530円×1名分=1, 530円
特急券	京都⇒福知山(片道)	1, 530円×1名分=1, 530円
合計		7, 020円

(様式1)

令和7年8月13日提出

福知山市議会

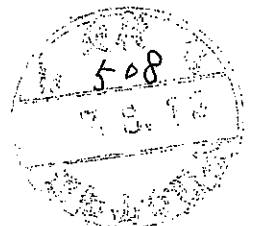
議長 吉見 茂久 様

会 派 名 蒼士会

代表者名 高橋 正樹

政務活動費研究研修視察報告書

- 1 研修年月日 令和7年7月28日(月)～7月29日(火)
- 2 研修先 全国市町村国際文化研修所(滋賀県大津市)
- 3 参加者氏名 森下 賢司
以上1名
- 4 経 費 合計14,720円(14,720円/1人あたり)
- 5 視察・研修項目
令和7年度「第2回市町村長等・議会議員特別セミナー」
講師 神戸市長 久元 喜造 氏
文芸評論家 三宅 香帆 氏・小説家 宮島 未奈 氏
國學院大學神道文化学部教授 松本 久史 氏
株式会社BOOK代表取締役 樋口 聖典 氏
- 6 添付資料 資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



1) 「真の意味での持続可能な都市を目指して」

講師 神戸市長 久元 喜造（ひさもと きぞう）氏

○社人研データの信憑性…世の中は社人研予測よりはるかに早く変化する▽今の社人研データは国民に危機感をもたらすためのデータではないか。社人研データに依存しすぎてはだめ▽「3大都市圏」という表現は今や死後→東京一極集中。東京一大都市になっている。政令指定都市のうち13市で人口減少。全国89%の市町村で人口減少。今後23区、福岡市、大阪市、名古屋市も減少する

○人口減の中で神戸市の施策…駅前の再整備に取り組んだ▽駅周辺に住んでもらう。駅前に人を集める。新規のマンションを規制する→既存のタワマンは都心の一等地に立地→投資目的で購入され、使用されていないものが多い⇒空室税導入を検討中▽北神急行電鉄を市営化し、料金を下げ、通勤便利にした。

2) 「地域の魅力を引き出す文学の力」

講師 文芸評論家 三宅 香帆（みやけ かほ）氏・小説家 宮島 未奈（みやじま みな）氏

○文学とまち起こし…まち起こしをしようとして書いてはいけない。まちに思いを馳せながら書いたものが、結果的にまち起こしにつながる▽『成瀬は天下を取りに行く』→住んでいる大津市を思い浮かべてストーリーを作った→作品中に登場する地名や建物が注目を浴び、そこが観光スポット化した。

○書店減がもたらす地域の衰退を危惧…まちなかの書店は個人経営が多く、経営も厳しい⇒書店がゼロの自治体も増加中▽個人経営の書店こそ、きめ細かな注文に対応できる。個人経営書店の廃業・消滅は、人々の書物離れを加速させる→地域の文化度が低下する恐れ。結果的に地域の衰退を招きやすい。大型書店だけでなく、まちの小さな書店が経営継続できるための行政支援も必要である。

3) 「明日を生きるために～人文知を地域に生かす～近世国学から学ぶ」

講師 國學院大學神道文化学部 教授 松本 久史（まつもと ひさし）氏

○国学とは何か…「古事記」「万葉集」「源氏物語」「伊勢物語」などのいわゆる「古典」は、近世まである一部の特権階級の人たちに書かれたもので、一般の人々が入手して読めるものではなかった→これらの書物を人々が「理解できる」ようにしたものが国学であり、実施したのが国学者である。

○地域の文化・伝統の再発見で地域振興を…平成30年度に文化財は「保存」から「活用」へと大きく方向転換。都道府県毎に文化財保存活用大綱を作成し、大綱に基づき市町村は「文化財保存活用地域計画」を策定できる。現在国内の15%、210自治体が策定済み→地域振興の上で、地域の文化や伝統を再認識して活用していくことが重要に。国学が地域の未来をコーディネートする可能性が高まった。

4) 「みんながやりたい場所をつくる廃校利活用施設『いいかね Palette』の運営について」

講師 株式会社 Book 代表取締役 樋口 聖典（ひぐち きよのり）氏

○廃校の利活用…過疎化によって廃校となった場所に人を呼び込むのは難しい。都市化によって廃校となった場所は活用しやすい⇒子どもの人数は少なくても、そこには世代を超えて人がいるから▽田川市は炭鉱産業の衰退で過疎化が進んだ→いいかね（猪位金）小学校の閉校→所有は市のままで、グラウンドや校舎の施設すべての30年間運営権を民間会社に付与。改修も民間会社の負担。

○いいかね Palette…マルシェ、音楽フェス、キャンプ場、宿泊などなんでもできる施設をめざした▽長期滞在の宿泊プランで、大学ゼミ合宿、スポーツ合宿獲得に注力▽行政が邪魔をしなかった。「保護者の立場で見守り、口出しせず、やりたいことをさせてくれた。」地元民が地元でしたいことをしただけ。

(様式3)

経費精算書

会 派 名 蒼士会

(単位:円)

月 日	支出項目	支出額	領収書No.
7月22日	研修費	7,300円	①
7月27日	研修費	7,420円	②
支出合計額		14,720円	

支出科目： 研修費
合計金額： 7,300円

領 収 書

福知山市議会 蒼士会 様

金額 7,300 円

但し、 令和7年度第2回市町村長等・議会議員特別セミナー

の 研修に要する経費(森下 賢司様分)

として上記の金額を領収いたしました。

令和7年7月22日

〒520-0106
滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

公益財団法人全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所
分任出納役 久保 佳代子

領収書No. 236

セミナー受講料 7,300円×1名分=7,300円

支出科目： 研修費
合計金額： 7,420円

領 収 書		福知山市議会	
Receipt		養士会 様	
領収年月日	2025-7-27		
金額	¥7,420	(消費税等込み)	税10%
上記金額確かに領収いたしました			
購入商品	JR乗車券類	印紙税申告納 付につき大淀 税務署承認済	
(30682 4枚)			
西日本旅客鉄道株式会社			
福知山駅N1発行	40683-01		

乗車券	福知山⇔唐崎 (往復)	3,960円×1名分=3,960円
特急券	福知山⇒京都 (片道)	1,730円×1名分=1,730円
特急券	京都⇒福知山 (片道)	1,730円×1名分=1,730円
合計		7,420円

(様式1)

令和7年 8月 27日提出

福知山市議会

議長 吉見 茂久 様

会 派 名 蒼土会
代表者名 高橋 正樹

政務活動費研究研修視察報告書

- 1 視察・研修年月日 令和7年8月19日(火)
- 2 視察研修先 オンライン研修(福知山市庁舎5階第2委員会室)
- 3 参加者氏名 高橋 正樹 藤本 喜章 以上2名
- 4 経 費 合計 50,000円(25,000円/1人あたり)
- 5 研修項目 講師 廣瀬 和彦
(株)廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事
 - (1) 適正な議員定数の算定手法を考える
 - ① 議員定数と人口減少
 - ② 議員定数の推移と議員報酬との関係性
 - ③ 投票率低下となりて不足
 - ④ アンケートから見る議員定数への住民の意識
 - ⑤ 議会の権能と議員定数
 - ⑥ 6つの議員定数算定手法
 - (2) 適正な議員報酬の算定手法を考える
 - ① 議員報酬と給与の違い
 - ② 議員報酬の対象となる活動
 - ③ 議員報酬の現状と議員の位置づけ
 - ④ 議員報酬における減額措置
 - ⑤ 費用弁償・政務活動費との関連
 - ⑥ 7つの議員報酬算定手法目
- 6 添付資料 視察研修行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)

政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 蒼士会)

令和 7 年 8 月 19 日 (火) オンライン研修 (福知山市庁舎 5 階第 2 委員会室)

参加者氏名 高橋 正樹 藤本 喜章

研修項目 議員定数・議員報酬の適切な算定手法

講師 廣瀬 和彦

(株)廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事

1 適正な議員定数の算定手法を考える

【報告・所感】

・議員定数の現状については、平成の大合併以降、全国的に減少傾向にあり、市議会議員の定数は平成 25 年から令和 5 年の間に 1~2 割程度減少しており、約 62.2%の市議会が定数を削減している。一方で議員報酬は 42.1%の自治体で増加しており、定数削減と報酬増加を同時に行う自治体が 28.6%ある。

・議員のなり手不足の要因として議員報酬の低さや社会保障の不足があり、特に若い世代が議員になりにくい状況があり、結果として議会の高齢化や多様性の欠如につながっている。市町村議会では 60 歳以上の議員が 7 割を超え、女性議員の割合も 20%に満たない状況となっている。

・議員定数が少なすぎると立候補のハードルが上がり、なり手不足を悪化させる可能性がある。

・議員定数に関する住民アンケートについては、ほとんどの場合「議員数を減らすべき」という意見が多数を占めることは、住民が議会活動を十分に理解していないことがその要因である。一度アンケートを取ると必ず削減の方向に進む。

・議会事務局の体制について、議員を支える職員数が少なすぎることが議会の政策立案機能や監視機能を弱めている。特に、都道府県レベルと市町村レベルでは政策条例案の提出数に大きな差があり、これは事務局体制の違いが影響している。

・議員定数の議論は選挙前ではなく冷静な時期に行うべきである。

・議会改革の一環として議員定数を削減することが多いが、本来議会改革は議会の権限を強化・充実するために行うものであり、組織を過度に減らすことが権限強化に繋がるか疑問である。また、定数改正後の効果検証がほとんど行われていないことも問題である。

・議会の権能として、議事機関としての権能、立法機関としての権能、監視機関としての権能の 3 つを挙げ、どの権能を重視するかによって適切な議員定数の考え方が変わる。議事機関を重視する場合は常任委員会の数と人数から定数を考え、立法機関を重視する場合は少数精鋭の考え方、監視機関を重視する場合は多くの議員が必要になる。

・議員定数を決定する際の様々な方式について、特に常任委員会数方式と行政区方式 (小・中学校区方式) を推奨。議員定数を削減する前に常任委員会の適正人数を先に決めるべきである。常任委員会の効果的な人数は研究によると、市では 7 人、都道府県では 8 人が妥当である。常任委員会数方式で計算すると、3 つの常任委員会に各 7 人で 21 人、または 4 つの常任委員会に 28 人が適正となり、議会レベルでは常任委員会の適正人数は 6~7 人程度である。現在の議員定数は減らしすぎている可能性があるとの指摘があった。

■前回の福知山市議会議員の定数削減時においても、常任委員会数の検討を行い、4委員会数から3委員会に変更することを前提に2名の減員を行った。委員数を最低でも7人確保するためであった。福知山市の人口の減少率は比較的緩やかであることから、しばらくの間は、24名の定数を維持できるのではないかと考える。その先、人口が60,000人に減少するには本市の場合はかなりの期間が予測されるため、仮に22名となっても、常任委員会数の7名は維持できるのではないかと見通せる。このことは逆に地方自治体の人口減少をくい止めるために議会が果たす役割が大きいことが示されている。

2 適正な議員報酬の算定手法を考える

【報告・所感】

- ・地方議会議員の報酬は、多くの自治体で長年据え置かれており、実態と制度の間に乖離が生じている。議員報酬は法律上「生活給」ではなく「役務に対する対価」として位置づけられているが、実際には多くの議員、特に都道府県議会や政令市の議員は専従的に活動しており、生活給的な性格を持っている。

- ・地方自治法203条では、議員に支給できる経費は議員報酬、期末手当、費用弁償、政務活動費の4種類のみであり、議員年金や退職金などは法的根拠がないため支給できない。

- ・特別職報酬等審議会については、本来は第三者機関として適正な報酬額を決定する役割があるものの、実際には首長の意向に沿った形で運営されることが多く、機能していないケースが多い。

- ・イギリス、ドイツ、フランスなどでは基礎的自治体の議員は原則無報酬であることが多い。しかし、これらの国と日本では議会の権限や文化的背景が異なるため、単純に比較することはできない

- ・多様な人材が議員として活動するためには、一定水準以上の報酬が必要であるとの考えが示され、特に他の職業から議員に転身する場合、リスクを伴う選挙を経て当選しても収入が減少するようでは、優秀な人材の確保が難しなる可能性がある。

- ・議員報酬を考える際には、議会活動だけでなく、住民との交流や相談対応など間接的に議会活動につながる活動も含めて総合的に評価すべきである。

- ・議員報酬の今後のあり方として、ボランティア型か生活給型かの選択が迫られていることが示され、多様な議会を構成するためには、一定水準以上の報酬が必要である。

- ・多くの議会が10年、20年にわたって報酬が変わっていない状況にある。法律上、議員報酬は生活給ではなく役務に対する対価として位置づけられているが、実態としては生活給的な性格を持っている。議員の身分が「非常勤でも常勤でもない」曖昧な位置づけであることが、報酬の適正化を難しくしている。

- ・特別職報酬等審議会は報酬を判断する際の基準として、消費者物価指数や類似団体との比較、一般職員の給与改定状況などが挙げられているが、議員活動の実態が軽視される傾向がある。

- ・通年会期制は議会改革の一環として導入されることが多いものの、実質的な効果は限定的であり、災害時の迅速な対応などの目的で導入される場合が多い。

- ・議員報酬の算定方式について、執行部職員給与基準方式、原価方式、国会議員歳費比較方式、日当換算方式、行政評価算定方式、類似団体方式、議会効率化方式など様々な方法があるが、

議会の権限や責任の大きさを踏まえ、一般職の職員の給与を基準にしながら、退職金や年金がないことなどを勘案して考えるのが合理的ではないか。

3 議員報酬検討にあたっての所見

議員報酬については、地方自治としての議会制度に限界を感じることから、究極的には、基礎自治体は、ヨーロッパ型、無報酬ボランティア制度による形式が合理的で望ましいと感じている。

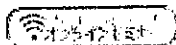
以前に議員としての実質の活動時間で適正報酬額を算定したところ、現状の報酬額に届かない結果となったこともある。また、どれをどれだけの議員活動量とするかの算出根拠も不明確なものとなっている。

また、議員には兼職が認められており、多くの議員が他にそれぞれの職業や家業従事などを兼ねていることもある。

現制度の中で、議員の活動実績を時間給で算出するのは難しいのではないか。

講師からは、単に他の自治体との比較ではなく、自分達の地域での活動や責任に見合った報酬額を設定すべきとの意見があったが、議会に対する市民からの特に報酬額についての理解を得ることは難しく、自治体規模による比準は避けられないと思う。

現状の議会気泡条例の下では、議員報酬の消費者物価指数に基づく調整が現実的であるかと思う。



議員定数・議員報酬 の適切な算定手法

8月19日(火) in 京都

◆10:00~13:00

適正な議員定数の
算定手法を考える

1. 議員定数と人口減少
2. 議員定数の伸びと
議員報酬との関係性
3. 投票率低下となりて不足
4. アンケートから見る
議員定数への住民の意識
5. 議会の権限と議員定数
6. 6つの議員定数算定手法

◆14:00~17:00

適正な議員報酬の
算定手法を考える

1. 議員報酬と給与の違い
2. 議員報酬の対象となる活動
3. 議員報酬の現状と議員の
位づけ
4. 議員報酬における派閥差
5. 費用弁償・政務活動費
との関連
6. 7つの議員報酬算定手法



講師：荒瀬 和彦

【元】総務省行政研究所長・
元全国市長会会長(現顧問)

議員定数と議員報酬の算定手法について、全国的に
調査・研究を進めており、その成果をこのセミナーで
発表いたします。また、議員報酬の算定手法についても
全国的に調査・研究を進めており、その成果をこの
セミナーで発表いたします。

制度行政研究所

(様式3)

経費精算書

会 派 名 蒼土会

(単位：円)

月 日	支出項目	支出額	領収書No.
6月27日	研修費	50,000円	①
支出合計額		50,000円	

支出科目： 研修費（受講料）

合計金額： 50,000 円 (25,000 円×2 名分)

領収書

2025 年 6 月 27 日

蒼士会 藤本 喜章 様

金額

¥ 25,000

但 8 月 19 日セミナー(オンライン)午前・午後受講料として
上記正に受領いたしました

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所

領収書

2025 年 6 月 27 日

蒼士会 高橋 正樹 様

金額

¥ 25,000

但 8 月 19 日セミナー(オンライン)午前・午後受講料として
上記正に受領いたしました

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所

支出科目： 資料作成費
合計金額： 10,450 円

領収証

No.

福知山市議会 蒼士会 様

2025年 9 月 06 日

金額

720900-

但 ☐

☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

内

8%(税込・税抜)金額

消費税額等

〒620-0035

京都府福知山市字内記72番地の1

10%(税込・税抜)金額

消費税額等



株式会社 ホウコク

代表取締役 足立 正

現金・カード・()

HISAGOB0809

登録番号

620-0035

京都府福知山市内記13 福知山市役所5F

納品書



株式会社 ホウコク

代表取締役 足立 正

〒620-0035 京都府福知山市内記72番地の1

TEL. (0773)22-2883 FAX. (0773)22-2875

福知山市議会 蒼士会

様

下記の通り納品申し上げます

品名	数量	単位	単価	金額
モノクロプリンター プラザー HL-L2460DW	1	台	13,000	13,000
設置設定費	1	式	5,000	5,000
既存プリンター処分費	1	式	1,000	1,000
税率10%			19,000	1,900
合計				20,900

資料作成費 按分 $20,900 \times \frac{1}{5} = 10,450 \text{ 円}$